

ボール、しっかり蹴れた

垂井で児童向け FC岐阜教室

サッカーJ3のFC岐阜によるサッカー教室が25日、垂井町笹原のキャプテン翼スタジアム垂井で開かれ、西濃地域の小学生約35人が夢中になってボールを蹴った。

大垣西濃信用金庫が地域貢献の一環として、初めて企画。参加した児童は、学年に応じて2組に分かれ、

FC岐阜のスクールコーチから指導を受けた。三角コーンを目がけ、狙ったところ



コーンを目標にボールを蹴る子どもたち。垂井町笹原、キャプテン翼スタジアム垂井

ろにボールを蹴る練習などをした後、ミニゲームでサッカーを楽しんだ。

大垣市の安井小学校6年の九鬼三絆君(11)は「パスの距離や相手の場所に応じて、ボールを蹴る強さや足の使い方を学べた」と目を輝かせた。(野田祐治)